

2022年12月13日

JTTRI グローバルセミナー
「急激に変化するコロナ後の世界秩序と今後の新たな日米関係」
宿利会長開会挨拶

日本の皆様、おはようございます。米国の皆様、こんばんは。運輸総合研究所(JTTRI)会長の宿利正史です。

本日は、「JTTRI グローバルセミナー」の第1回目として、元米国国務副長官のリチャード・アーミテージ閣下と元外務事務次官、初代国家安全保障局長の谷内正太郎様をお迎えし、「急激に変化するコロナ後の世界秩序と今後の新たな日米関係」について考えてみたいと思います。米国ワシントン DC のアーミテージ様のご自宅と当研究所をオンラインで結んでお届けします。モデレーターはジャーナリストの鈴木美勝様にお願いしました。お三方には、ご多忙なスケジュールの合間を縫って、本日のセミナーにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、大きな時差がある中で、日米両国に加え、アジアや欧州からも1,100名を超える大変多くの皆様にご参加いただいております。誠にありがとうございます。

さて、2020年初からの COVID-19 のパンデミックに世界が翻弄される間に、国際情勢は近年にない激動の時を迎えました。本年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、混迷する世界の厳しい現実を白日の下にさらすこととなりました。一方で、自由や人権、民主主義、法の支

配といった普遍的な価値を共有する国家間の多重的な連携の重要性が明らかとなったことも事実です。とりわけ、これまでも日本の最も重要なパートナーでありました米国と日本との関係の重要性が従来にも増して大きくなり、そのことを改めて認識させられることとなりました。今後好むと好まざるとに関わらず私たちが直面せざるを得ない日本をとり巻く厳しい国際環境において、日米関係をより高い次元に進化・発展させていくことが不可欠です。

そこで、本日はまず、米国を代表する知日派として知られ、国防、外交の要職を歴任してこられた、リチャード・アーミテージ様と、日本の外交・安全保障の中核で活躍してこられた、谷内正太郎様からそれぞれ講演していただきます。続いて、外交、安全保障の分野で幅広く取材・発表をされてこられたジャーナリストの鈴木美勝様をモデレーターとして、お二人に対談を行っていただきます。

ご参加いただいている皆様と共に、急激に変化する世界秩序と今後の新たな日米関係について、考察を深めてまいりたいと思います。

当研究所では、本日のグローバルセミナーの続編として、新しい次元の日米関係を構築する上で重要な観点である日米間の多層的かつ広範にわたる人と人との交流に焦点を当てたシンポジウムを、来年3月23日に米国ワシントン D.C.において、恒例のワシントン桜祭りの公式行事の一つとして対面にて開催いたします。さらに来年6月を目途に、日米間の人的交流の拡充の前提となる今後の日米の航空をテーマに、同じくワシントンD.C.にて対面のシンポジウムを開催する予定です。

さて、私の話はこの位にして、早速アーミテージさん、谷内さんにマイクをお渡ししたいと思います。アーミテージさん、谷内さん、どうぞよろしく
お願いいたします。